2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　日本山村硝子株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5210　　ＵＲＬ　https://www.yamamura.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役　社長執行役員　　（氏名）山村　昇
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）杉本　雅美　　ＴＥＬ　06-4300-6000

半期報告書提出予定日　　2026年11月16日　　配当支払開始予定日　2026年12月８日

決算補足説明資料作成の有無：　無

決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	35,984	△1.9	1,921	△25.3	2,027	△33.7	2,211	△16.3
2026年３月期中間期	36,665	△2.9	2,572	6.9	3,057	12.5	2,641	25.8

（注）包括利益　　2027年３月期中間期　　3,399百万円（127.6%）　　2026年３月期中間期　　1,493百万円（△62.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	216.43	―
2026年３月期中間期	258.43	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	95,378	58,948	61.7
2026年３月期	97,497	56,367	58.2

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　　58,862百万円　　2026年３月期　　56,777百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	75.00	―	75.00	150.00
2027年３月期	―	75.00			
2027年３月期（予想）			―	75.00	150.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	△0.3	2,600	△31.1	2,800	△36.2	2,900	△11.3	283.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	11,145,249株	2026年３月期	11,145,249株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	930,277株	2026年３月期	924,425株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	10,215,921株	2026年３月期中間期	10,222,020株

（注）期末自己株式数および期中平均株式数（中間期）の計算において控除する自己株式数には、株式付与ＥＳＯＰ信託が保有する当社株式が含まれております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、［添付資料］３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しましたが、物価上昇の継続に加え、中東情勢や金融資本市場の変動の影響等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは当連結会計年度より３ヵ年の新中期経営計画をスタートさせました。新中期経営計画では「持続的な成長に向けた飛躍」をテーマとし、「既存事業セグメントの収益基盤強化」「未来事業創造に向けた準備」「グローバルビジネスの再構築と拡大」「循環型社会の実現に向けた更なる開発の強化」「従業員が誇りを持って働き続けたいと思える会社づくり」という５つの経営方針を推進することで、グループ一体となって業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

①　ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内ガラスびんの販売単価の上昇があったものの、国内ガラスびんの出荷量の減少等により、セグメント売上高は21,660百万円（前年同中間期比5.1%減）と減収となりました。セグメント利益は、国内ガラスびんの出荷量および生産量の減少、減価償却費や修繕費等の増加により、967百万円（前年同中間期比47.7%減）と減益となりました。

②　プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、出荷量の減少があったものの中東情勢による原料価格高騰に伴う価格改定を実施したことにより販売単価が上昇し、セグメント売上高は4,849百万円（前年同中間期比4.7%増）と増収となりました。セグメント利益は、販売単価の上昇があったものの、中東情勢による原料価格高騰や中国での出荷量および生産量の減少により、382百万円（前年同中間期比11.7%減）と減益となりました。

③　物流関連事業

物流関連事業では、取扱い物量の減少等により、セグメント売上高は7,279百万円（前年同中間期比0.7%減）と減収となりました。セグメント利益は、作業や配送の効率改善等のコスト削減により、483百万円（前年同中間期比25.8%増）と増益となりました。

④　ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、半導体市場の好調を受け電子部品用ガラスやガラスセラミックス製品等の出荷が増加し、セグメント売上高は2,129百万円（前年同中間期比19.0%増）と増収となりました。セグメント利益は、増収による増益効果により、379百万円（前年同中間期比44.7%増）と増益となりました。

その他事業の植物事業では、受注減少によりセグメント売上高は65百万円（前年同中間期比22.4%減）、セグメント利益は△143百万円の損失（前年同中間期は△128百万円の損失）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結売上高は35,984百万円（前年同中間期比1.9%減）と減収となり、連結営業利益は1,921百万円（前年同中間期比25.3%減）と減益となりました。持分法による投資利益は海外関連会社の減益により121百万円（前年同中間期比82.7%減）となり、連結経常利益は2,027百万円（前年同中間期比33.7%減）と減益となりました。特別利益に投資有価証券売却益612百万円を計上したものの、親会社株主に帰属する中間純利益は2,211百万円（前年同中間期比16.3%減）と減益となりました。

なお、2026年８月に公表した業績予想に対しては、売上高は予想並みとなり、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも予想を上回りました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,119百万円減少し、95,378百万円となりました。これは、商品及び製品が789百万円増加したものの、現金及び預金が3,305百万円減少したこと等が主な要因です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,700百万円減少し、36,429百万円となりました。これは、設備未払金の支払が進んだこと等によりその他流動負債が2,712百万円、有利子負債が2,402百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産については、前連結会計年度末に比べ2,580百万円増加し、58,948百万円となりました。これは、利益剰余金が1,408百万円増加したこと等が主な要因です。自己資本比率は3.5ポイント上昇して61.7％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期における通期の業績予想につきましては、2026年８月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,152	7,846
受取手形、売掛金及び契約資産	19,633	20,212
商品及び製品	6,563	7,352
仕掛品	372	371
原材料及び貯蔵品	1,781	1,865
その他	900	869
貸倒引当金	△87	△88
流動資産合計	40,315	38,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,625	5,508
機械装置及び運搬具（純額）	9,945	9,405
工具、器具及び備品（純額）	1,284	1,105
土地	10,415	10,415
建設仮勘定	349	358
有形固定資産合計	27,620	26,793
無形固定資産		
その他	1,655	1,874
無形固定資産合計	1,655	1,874
投資その他の資産		
投資有価証券	3,335	3,552
関係会社株式	22,174	22,450
退職給付に係る資産	906	888
繰延税金資産	492	410
その他	1,447	1,430
貸倒引当金	△451	△451
投資その他の資産合計	27,905	28,280
固定資産合計	57,181	56,948
資産合計	97,497	95,378

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,786	8,221
短期借入金	4,271	3,324
１年内償還予定の社債	328	328
未払法人税等	592	645
賞与引当金	880	839
役員賞与引当金	51	38
製品保証引当金	3	16
訴訟損失引当金	21	－
その他	6,149	3,437
流動負債合計	20,084	16,852
固定負債		
社債	1,828	1,664
長期借入金	15,273	13,993
リース債務	452	443
退職給付に係る負債	2,598	2,553
株式給付引当金	42	38
繰延税金負債	185	216
その他	662	667
固定負債合計	21,045	19,577
負債合計	41,129	36,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,592	16,592
利益剰余金	23,713	25,121
自己株式	△1,534	△1,550
株主資本合計	52,845	54,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,450	1,769
繰延ヘッジ損益	356	290
為替換算調整勘定	2,445	2,867
退職給付に係る調整累計額	△320	△303
その他の包括利益累計額合計	3,931	4,624
非支配株主持分	△409	85
純資産合計	56,367	58,948
負債純資産合計	97,497	95,378

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	36,665	35,984
売上原価	28,532	28,435
売上総利益	8,133	7,549
販売費及び一般管理費	5,560	5,628
営業利益	2,572	1,921
営業外収益		
受取利息	21	29
受取配当金	49	57
持分法による投資利益	701	121
その他	204	181
営業外収益合計	976	390
営業外費用		
支払利息	152	196
租税公課	44	44
その他	295	43
営業外費用合計	491	284
経常利益	3,057	2,027
特別利益		
固定資産売却益	－	3
投資有価証券売却益	175	612
受取保険金	－	113
債務免除益	－	490
特別利益合計	175	1,219
特別損失		
固定資産売却損	－	2
固定資産廃棄損	6	24
特別損失合計	6	26
税金等調整前中間純利益	3,227	3,220
法人税、住民税及び事業税	535	503
法人税等調整額	47	9
法人税等合計	582	513
中間純利益	2,644	2,707
非支配株主に帰属する中間純利益	2	496
親会社株主に帰属する中間純利益	2,641	2,211

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	2,644	2,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	366	319
繰延ヘッジ損益	△42	△65
為替換算調整勘定	△202	137
退職給付に係る調整額	△16	△29
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,256	329
その他の包括利益合計	△1,151	691
中間包括利益	1,493	3,399
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,494	2,903
非支配株主に係る中間包括利益	△1	495

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,227	3,220
減価償却費	1,803	1,984
持分法による投資損益（△は益）	△701	△121
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△83	13
投資有価証券売却損益（△は益）	△175	△612
債務免除益	－	△490
売上債権の増減額（△は増加）	△1,904	△335
仕入債務の増減額（△は減少）	3	419
棚卸資産の増減額（△は増加）	△67	△845
その他	475	△86
小計	2,577	3,147
利息及び配当金の受取額	247	298
利息の支払額	△145	△191
法人税等の支払額	△358	△449
法人税等の還付額	8	57
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,328	2,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,751	△3,310
無形固定資産の取得による支出	△265	△774
投資有価証券の売却による収入	312	951
その他	△140	△194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,845	△3,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	600	－
長期借入れによる収入	1,000	900
長期借入金の返済による支出	△2,318	△2,637
社債の償還による支出	△71	△164
配当金の支払額	△1,115	△799
その他	△321	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,227	△2,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	10
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,833	△3,305
現金及び現金同等物の期首残高	10,791	11,152
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,957	7,846

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	ガラスびん関連事業	プラスチック容器関連事業	物流関連事業	ニューガラス関連事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	22,826	4,634	6,954	1,789	36,204	84	36,289	－	36,289
その他の収益	－	－	376	－	376	－	376	－	376
外部顧客への売上高	22,826	4,634	7,330	1,789	36,580	84	36,665	－	36,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	212	54	4	282	0	282	△282	－
計	22,837	4,847	7,385	1,794	36,863	84	36,948	△282	36,665
セグメント利益又は損失（△）	1,852	433	384	262	2,933	△128	2,804	△231	2,572

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△231百万円には、セグメント間取引消去等81百万円、その他の調整△313百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	ガラスびん関連事業	プラスチック容器関連事業	物流関連事業	ニューガラス関連事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	21,660	4,849	6,890	2,129	35,531	65	35,596	－	35,596
その他の収益	－	－	388	－	388	－	388	－	388
外部顧客への売上高	21,660	4,849	7,279	2,129	35,919	65	35,984	－	35,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	203	53	6	276	0	276	△276	－
計	21,672	5,053	7,332	2,136	36,195	65	36,261	△276	35,984
セグメント利益又は損失（△）	967	382	483	379	2,214	△143	2,071	△149	1,921

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△149百万円には、セグメント間取引消去等53百万円、その他の調整△202百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

３．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。